



チャレンジして失敗を恐れるより 何もしないことを恐れる

～北アルプス自然教室・八ヶ岳自然教室を終えて～

校長 島野 歩

梅雨の季節を迎えました。ゴールデンウィーク明けに植えた1年生の朝顔の芽がぐんぐん成長していく様が毎日楽しみです。子どもたちの水やりの表情も嬉しそう！身近な植物がたくましく伸びゆく様子は、子どもたち・私たちに勇気と希望を与えてくれます。

草や木の生長にとってなくてはならないのが、雨の日であり、またよく晴れた日です。どちらもちょうどよいバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉も勢いよく生い茂ります。もし雨ばかり降っていけば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。このように、植物の生長には反対のもの同士が必要です。子どもの心の成長にも、晴れと雨のように「優しさ」と「厳しさ」が必要です。

子どもたちは、「優しさ」だけでは、甘えがでたり、わがままがでたりして、よい心が育ちません。また逆に「厳しさ」だけでも気持ちがすさんだり、いじけたり、いらいらしたりしてよい心は育ちません。実は、宿泊には、さまざまな「優しさ」と「厳しさ」が存在すると思っています。多くの人たちとのかかわりの中で触れ合う「優しさ」、ご家庭を離れての集団生活をする「厳しさ」・・・この土台においてこそ、「チャレンジ」の機会が多く生まれます。

「チャレンジして失敗を恐れるより、何もしないことを恐れる」・・・本田技研工業の創始者である本田宗一郎のモットーのひとつでした。待っているだけでは何も生まれない。

失敗を恐れずにチャレンジしていくことで、成功をつかむことができる。・・・北アルプス、八ヶ岳でも、さまざまな事象・経験に果敢にチャレンジする子どもたちの姿を見ることができました。

このチャレンジの経験が子どもたちの心に深く根ざし、大きな学びとなっていくことを心から願っています。

土地々々のたくさんの方たちとの出逢いは
子どもたちにとって大きな宝物です。

写真左：富山の島尾海岸にて地引網を体験しました。1時間かけて漁師の方と引き上げた魚は、黒鯛や蟹も含めて喜びの大漁！そのまま昼食に！

写真右：八ヶ岳の麓で田植え体験！近隣の農家の方が優しく丁寧に教えてくれました。



◆授業参観(5月6日)

ご来校・ご参観いただき 心から感謝申し上げます◆

～保護者の皆様の声・声・声～

○我が子の生き生きとしている姿を見て、学校での出来事を帰宅後30分話し、早く学校へ行きたいと眠りにつく気持ちがわかりました。限られた時間の中で、どのような答えでも、子どもたち全員がそれを受け入れ拍手するなど、自信がつくし良いなあと感じました。我が子の笑顔が学校生活の答えであると思います。



○算数では、自分で問題を作らせるという発想が素晴らしいです。受け身の授業ではなく自分で考えて動く授業は自信にもつながると思いました。感動しました。

○昨年度に比べて驚くほど落ち着きを取り戻しており、安心しました。

○廊下・階段が埃や髪の毛で汚かったです。⇒お掃除を徹底し、校内整美をさらに心がけていきます。

○ドッジボールの親子参加では、子どもたちの仲間意識が強くなり「絆」も深まったと思います。社会では、1組2組ともそれぞれの先生方の工夫ができていました。

○以前より挨拶をしてくれるお子さんが増えていると思います。

○挨拶をしてくれるお子さんが少なくなっている気がしました。⇒挨拶に関しては、プラス・マイナス双方のご意見をいただきました。子どもたちの元気な挨拶は本校の誇りです。気持ちの良い挨拶が響きあうよう、まず教師自身がお手本となり、とくに高学年は低学年の鏡になれるよう日々の実践を通し、意識を高めてまいります。ぜひご家庭でもご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

○教わる授業ではなく、自ら学ぶ授業が展開されていました。素晴らしかったです。

○上級生が下級生に優しく声をかけ面倒を見ている姿を多く目にしました。先生方のご指導の賜物だと思います。このような心を大切にこれからも成長して行ってほしいです。

～学校公開アンケート結果～ 回答数 247/268 回収率 92.1%

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1 子どもは、学習に集中して取り組んでいるか。 | 93.1p |
| 2 子どもは、学級でまとまって楽しく活動しているか。 | 94.0p |
| 3 子どもは、あいさつなどの礼儀を身に付け落ち着いているか。 | 88.2p |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上を努力しているか。 | 95.0p |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っているか。 | 96.9p |
| 6 教室は、整理整頓され、廊下などの掃除が行き届いているか。 | 97.6p |

◆集計方法：4：そう思う（100P） 3：ややそう思う（75P）

2：あまりそう思わない（25P） 1：思わない（0P）

$$P \dots (4 \text{ の総数} \times 100 + 3 \text{ の総数} \times 75 + 2 \text{ の総数} \times 25 + 1 \text{ の総数} \times 0) \div \text{有効回答数}$$

◆来校者のべ人数 422人

6月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
				6/1 運動会準備B時程	2 東京地区 教員研修会	3 運動会
4	5	6	7	8 歯科検診	9	10 休業日
11	12	13	14	15 研究授業 6年・2-2 B時程	16 第1回漢字検定試験	17 第2回学校説明会
18	19	20 5・6年 水泳教室 避難訓練	21 研究授業 1-2・2-1 B時程	22	23	24 休業日
25	26	27	28	29	30	

← 3・4年 水泳教室 *年間行事予定と1日変更 →

← 5・6年 水泳教室 →

6月の生活目標

重点目標 〈文教っ子八ヶ条 第3条 素直な気持ち、謙虚さをもって人に接すること。〉

◎ 場所や天候を考えた遊び方をしよう

◎ 自分の仕事をしっかりやろう

・廊下は右側を静かに歩く。 ・ロッカーの中を整理・整とんする。

・係や当番を責任をもって行う。

◎ 自分の仕事を責任をもってしていますか 〈文責：主幹田中 宏一〉

まず皆さんの、学校の中での仕事を思い出してみてください。低学年の人は、学級の係の仕事を思い出してみましょう。学級でそれぞれ言い方はいろいろあると思いますが、出欠を書いたり、次の授業の準備を、聞きに行ったりする係や、牛乳の注文を聞いたり、お茶や牛乳を地下に取りに行ったりする係など、たくさんの係の仕事があると思います。高学年になると、学級の係に加えて、委員会という学校全体に関わる大きな仕事も増えてきます。どれも、学校の中で大切な仕事で、うっかり忘れてしまうと、どれも周りの友達が困ってしまうことになります。なので、当番の人が学校をお休みしたときには、代わりの友達がする約束も、決まっていると思います。

ではなぜ、皆さんで係や当番を割り振るのでしょうか。それは、難しい言葉で書くと、『自己存在感』を感じるためです。自己存在感とは、自分は価値ある存在であるということです。学校の中では、みなさん一人ひとり、みんな違いますが、誰一人として、いてもいなくてもいい人はいないということです。全員が必要な人だということを表しています。今月は、自分の仕事をいつも以上に意識をして、自分がいるから、みんなが困らなかつたのだと、自分自身の存在感を感じてくださいね。

また、各ご家庭でも『自己存在感』を感じる機会があればと思います。ご家庭で相談していただいて、お子様に、家の中での役割を与えてやってください。お子様自身が家族の中でも、学校のなかでも必要な存在と思える場が増えて意欲的な姿を学校でみせてくれることを期待しています。